

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。

県立吉原高校の緋寒桜



▲正門から続く緋寒桜の並木

立春を過ぎたとはいうものの、まだ風がほおに冷たい二月中旬、今泉の県立吉原高校では、桜の花が早くも満開となりました。この桜は、正門から南北に続いて植えられている緋寒桜。冬空いっぱい濃いピンク色の花を広げ、その枝には、春を待ちわびていたメジロやヒヨドリなどの小鳥が飛び交っていました。この桜が咲くと、「朝夕、正門を通るのが楽しみです」（吉原高校二年・小林愛実さん）、「学校が華やかになり、気分もうきうきとってきます」（同二年・山田鮎美さん）、「もうすぐ新しい学

まちかど ネットワーカー 通信

毎年二月になると、県立吉原高校に、春の訪れを告げる早咲きの桜が咲きます。この話題をまちかどネットワーカーの馬場眞由美さんにレポートしていただきました。



馬場 眞由美さん (大淵)

桜の花のもとで輝いている高校生の皆さんの姿が印象的でした。皆さんが希望に胸を膨らませる暖かな春が早く訪れてほしいですね。

年になるので、頑張ろうと思えます」（同二年・稲葉将利さん）と、一足早い桜の花に、生徒の皆さんは、それぞれに「春」の訪れを感じているようでした。この桜の花が見られるのは、例年二月いっぱいまで。そして、四月初めの入学式には、この緋寒桜にかわって、ソメイヨシノが淡いピンク色の花を咲かせ、在校生や教職員とともに新入生を歓迎します。二十四年前、富士市に来て初めて目にした桜がこの吉原高校の桜です。私の故郷は北海道でしたので、富士市ってとても暖かいところなんだと感じたことを思い出しました。桜の花のもとで輝いている高校生の皆さんの姿が印象的でした。皆さんが希望に胸を膨らませる暖かな春が早く訪れてほしいですね。



▲新しいポンプ車を迎えた第25分団の皆さん

火災などの災害が起きたとき、現場に駆けつけ消防署員とともに活動を行う消防団。地域を火災から守るため、団員の皆さんは仕事につきながら、消防活動に従事しています。このほど広見、広見南、今泉伝法、大淵地区の一部を担当する第二十五分団に、二代目となる消防ポンプ車が配置されました。二十五分団は昭和五十七年に設置された市内で二番目に新しい分団。その翌年に配置された消防ポンプ車は、十九年間現役として活躍しましたが老朽化

設立二十周年を迎えた消防団二十五分団に 二代目の消防ポンプ車が配置

ズーッとアップ

ふじ



▲2月13日に行われた消防ポンプ車の引渡式

が激しく、二代目の配置となりました。二十五分団の団員は現在二十人。皆さんは、出場に備えての訓練、防火啓発のための夜警のほか、地区のさまざまな行事に参加するなどして活躍しています。分団長の秋山富弘さん（石坂）は、「新しい消防ポンプ車を迎え、気持ちもさらに引き締まります。このポンプ車は装備も最新。大切に使いながら、地域の皆さんに防火意識を高めてもらえるように努めたいと思っています。三月一日から七日までの春の火災予防週間に向けて、団員の士気も一段と高まります」と力強く語ってくれました。